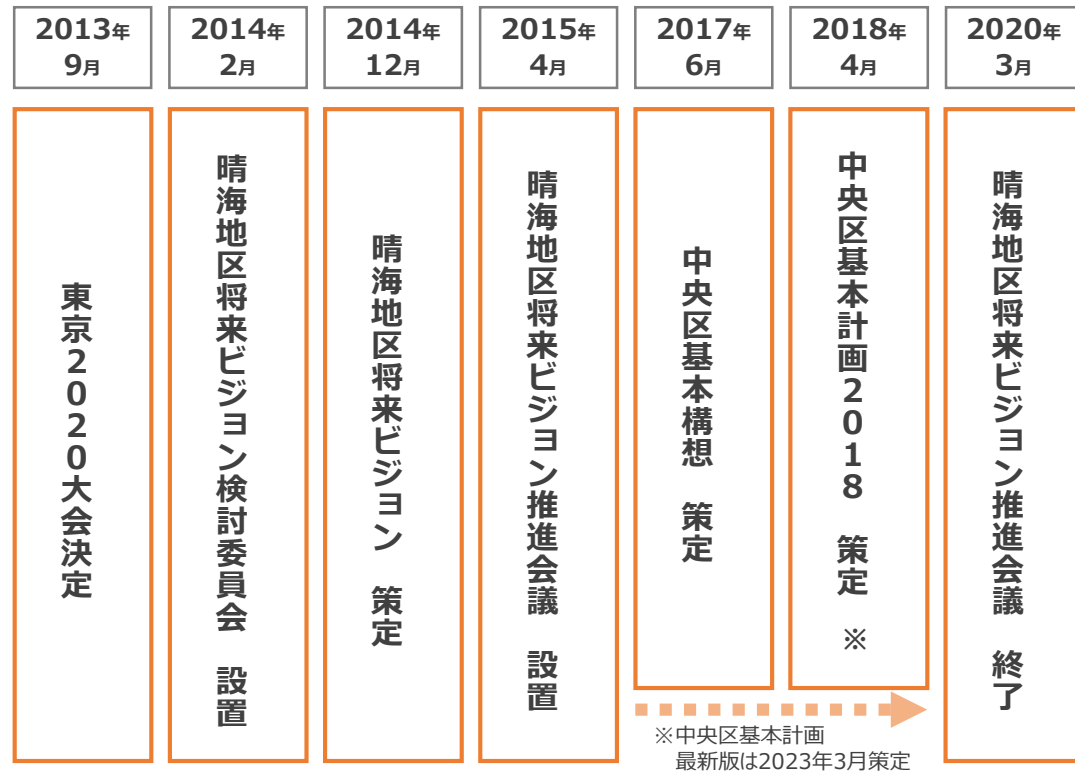


晴海コミュニティ構想検討会議の取りまとめ

2024年2月
晴海コミュニティ構想検討会議

1 活動報告

● 設置経緯



晴海コミュニティ構想検討会議 概要

| | | | | | | |
|---------|---|------------|----------------|------------|------|------------|
| 背景： | HARUMI FLAGの整備により、12,000人の人口増が見込まれる中、新旧のコミュニティが協働し、先進的なコミュニティを確立するための議論の場として2020年9月に当会議体を設置 | | | | | |
| 目的： | まちびらき以降の晴海地区における「良好な住環境の形成」「資産価値の向上」等に寄与する、持続可能な発展型まちづくりの実現に向けた議論を行う | | | | | |
| 構成メンバー： | 住民代表 | 12名 | 晴海ふ頭公園カフェ施設事業者 | 1名 | 中央区 | 5名 |
| | 企業代表 | 6名 | | | | |
| | HARUMI FLAG代表 | 1名 | | | | 計25名 |
| 開催実績： | 第1回 | 2020.09.14 | 第5回 | 2022.05.31 | 第9回 | 2023.05.09 |
| | 第2回 | 2021.06.08 | 第6回 | 2022.08.30 | 第10回 | 2023.09.13 |
| | 第3回 | 2021.09.28 | 第7回 | 2022.11.30 | 第11回 | 2023.11.30 |
| | 第4回 | 2022.02.14 | 第8回 | 2023.02.28 | 第12回 | 2024.02.20 |

● 晴海コミュニティ構想検討会議の振り返り

| STEP 1 | STEP 2 | STEP 3 | STEP 4 | STEP 5 |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------|------------|-------------------------------|
| 地域の成り立ちを知る 検討のゴールを定める | 晴海の将来イメージを 共有し課題を抽出する | 地域のめざす方向性・ 活動・参画者を検討する | 活動計画を具体化する | コミュニティの将来像を 実現するための体制を検討する |

第1回～第2回

- 会議体の設置
会議体を立ち上げ、会議の設置目的を共有
- 地域の成り立ちの共有
地域の開発状況やこれまでの検討経緯を共有
- 会議スケジュールの設定
会議全体の進め方、検討ステップを確認

第3回～第4回

- 地域特性・将来像の共有
地域の特徴、将来の姿・今後の活動に対してイメージ・課題を議論
- 各主体の晴海への期待・課題の把握
将来への期待・現在の地域活動・晴海地区一体への考え方について、ヒアリング結果を共有

第5回～第6回

- 活動の方向性の検討
住民・企業が一体となって行うことで良くなる活動、多様な主体が参加するための工夫について、アンケート結果（※1）を共有
- 既存の地域活動の共有
晴海地区で行われている多種多様な地域活動を整理・共有し、地域活動のめざす方向性を議論

第7回～第8回

- 地域参加型イベントの実施と共有
企業が主催した「ねぶくろシネマ」（※2）の実施結果と、そこから得られたことを共有
- 地域一体で行うと効果的な地域活動の検討
地域で共有できる場「晴海地域交流センター」の活用方法、地区内交通の在り方を議論
- これまでの振り返りと今後の活動計画検討

第9回～第12回

- 晴海における“つながりの基盤”の必要性を検討
各主体が持つ資源を有効活用するために必要な“つながりの基盤”を検討
- 晴海地域交流センター「はるみらい」を中心としたコミュニティの形成について検討
2024年4月以降の「はるみらい」を軸としたコミュニティのあり方について共通認識を図る。

2024年春
まちびらき

さらなる地域活動の充実

※1 ※2 参考資料に記載

2 晴海地区のコミュニティのあり方

晴海コミュニティの将来像

必要な時に伸縮自在に結束し、地域の課題解決を図ることができるコミュニティ

- 交流を目的とした地域活動を通じて日頃からつながりを作ること、災害など有事の際にも共助の結束が図れるコミュニティ。
- 晴海地区全体／住民と企業／住民同士など、多様な主体が規模や形に応じて、繋がり、一緒に取り組みを行える。
- そのために各主体から情報を共有したり、連絡を取ったりすることが可能な“つながりの基盤”がある。

実現するためには・・・

各主体の資源を活用するための“つながりの基盤”が必要

| 主体 | 住民・町会・自治会 | 企業・事業者 | 行政・公共施設 | 学校・教育機関 | 来街者・地域外の団体 |
|----|----------------------------|--------------------------------|--------------------------|---------------------|------------------------------|
| 資源 | 住民とのネットワーク、人、アイデア、場所・備品 など | 場所・備品の提供、PR、スポンサー、専門家ネットワーク など | 区内ネットワーク、公共施設・備品、広報手段 など | 調査研究、学生の参加、場所の提供 など | 地域外のネットワーク、発信力、参加費などによる収益 など |



人的ネットワーク



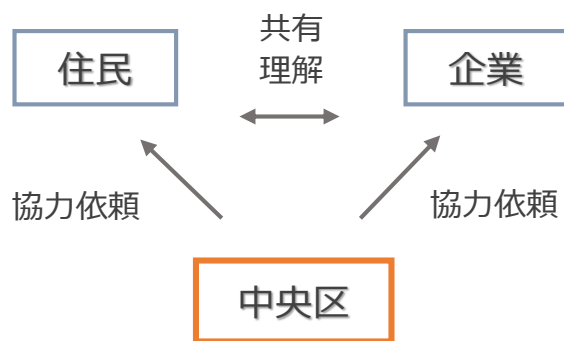
主体的な活動のための場



情報交換のツール

3 晴海地区全体のコミュニティ形成に向けたロードマップ

現在



コミュニティ形成に関する議論

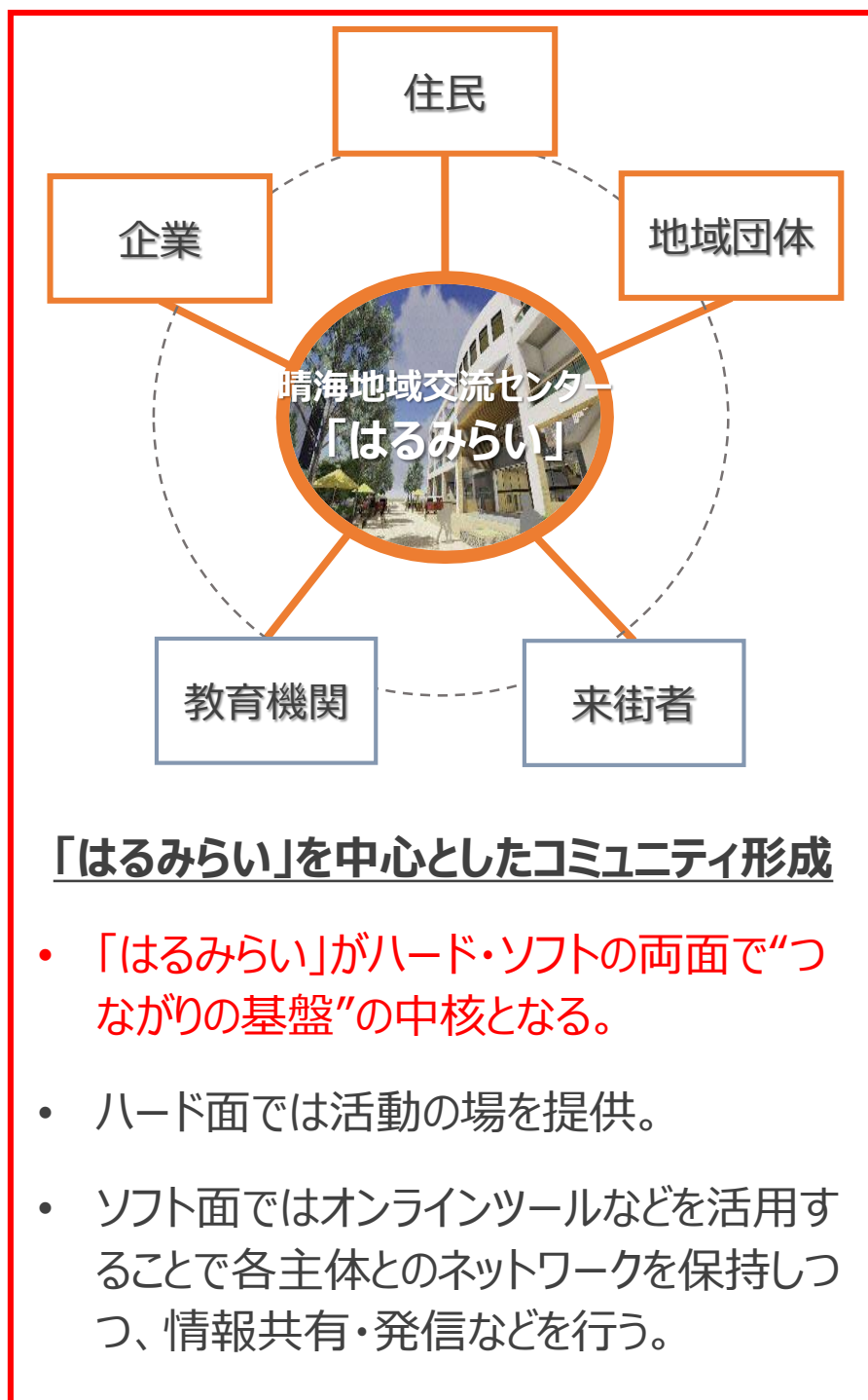
- 中央区主催の晴海コミュニティ構想検討会議を通じ、住民・企業・自治体3者が集まり、晴海地区のコミュニティ形成について議論
- コミュニティの在り方を検討するだけでなく、具体的な活動の共有・相談の場としても機能。

晴海コミュニティ構想検討会議を通じて・・・

- 地域主体で行う活動の重要性や、主体的に参加することによってコミュニティが形成されることを理解した。
- 本会議の議論を通じて、住民・企業の関係性を構築できた。

2024年(R6年)4月～

※「はるみらい」の開設日は2023年12月17日



※詳細はP4に記載

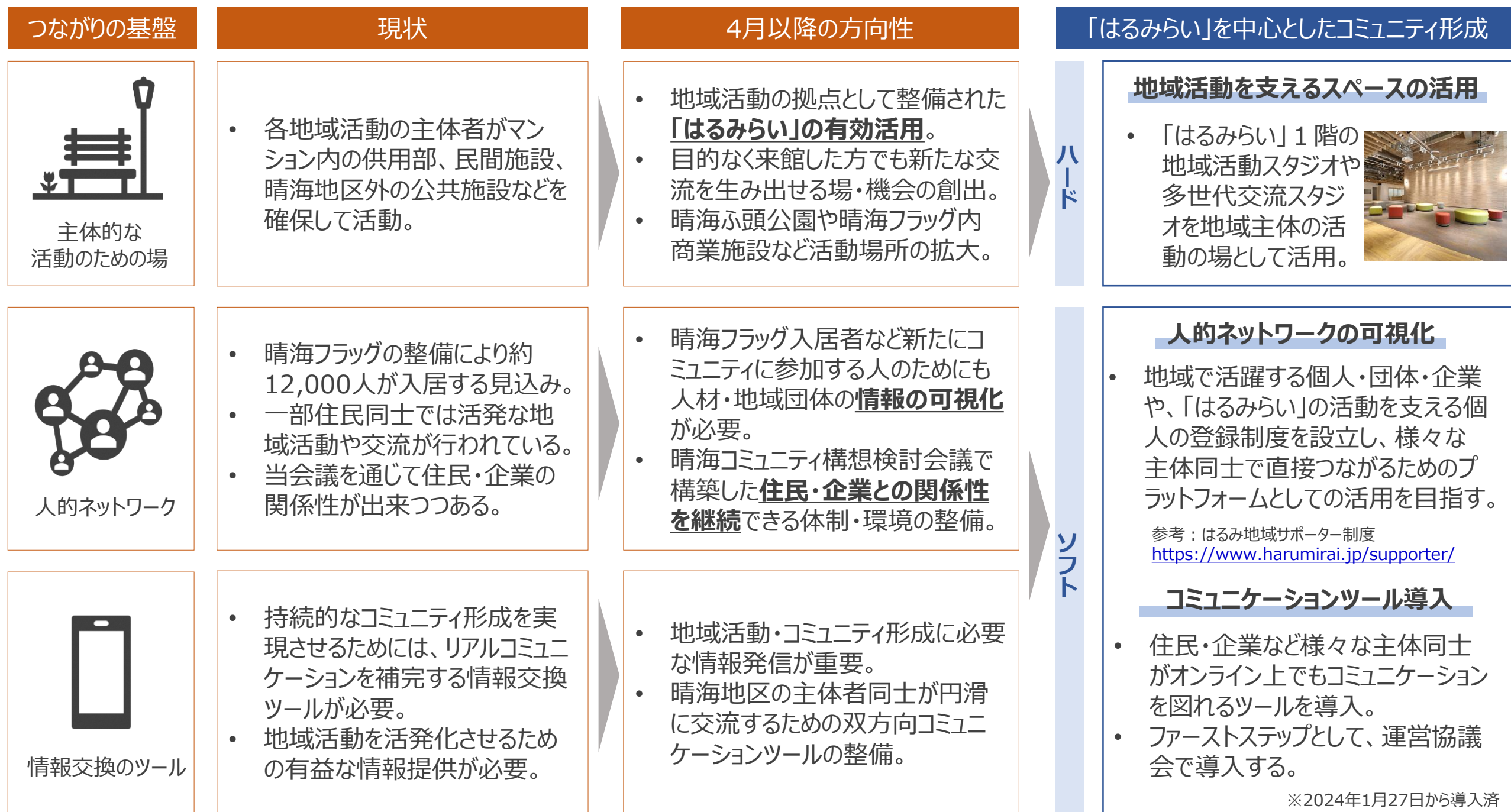
将来の姿



晴海地区全体のコミュニティ形成 (つながりの基盤の完成)

- 「はるみらい」をはじめとした晴海地区の様々な場所で、晴海地区にかかわる様々な人や団体が地域のリソースを有効活用した地域活動を行っている。
- 地域から自発的に生まれた活動が持続的に行われ、その規模やネットワークが拡大されている。
- それにより、災害時にも生かされる地域ネットワークが強化されている。

4 「はるみらい」を中心としたコミュニティ形成に資する具体的な取組について



「はるみらい」を活用して様々な活動や交流を積み重ねていくことで、晴海コミュニティの将来像の実現を目指す。

目的・概要

- 晴海地区一体となった街づくり・地域活動の検討の手がかりとするために、地域で行われている個々の活動について、晴海コミュニティ構想検討会議構成メンバーにアンケートを実施。(実施期間：令和4年7月1日～7月14日)
- 住民代表の参加者には、規模や内容にかかわらず、携わっている全ての活動について、企業代表の参加者には、晴海地区以外の参考事例も含めて携わっている活動について回答いただいた。

結果

● 晴海地区における地域活動の特徴

目的ごとに分布の差はあるものの、多様な目的の活動が「狭域」「個」から「地域全体」「多様な主体」まで幅広く展開されている。

※詳細はP6に記載

● 活動目的ごとの特徴

安全で快適、住みやすさ・働きやすさ

コミュニティごとに類似する活動も多いため、近隣との連携や他自治会での転用など今後広がりを生みやすい。

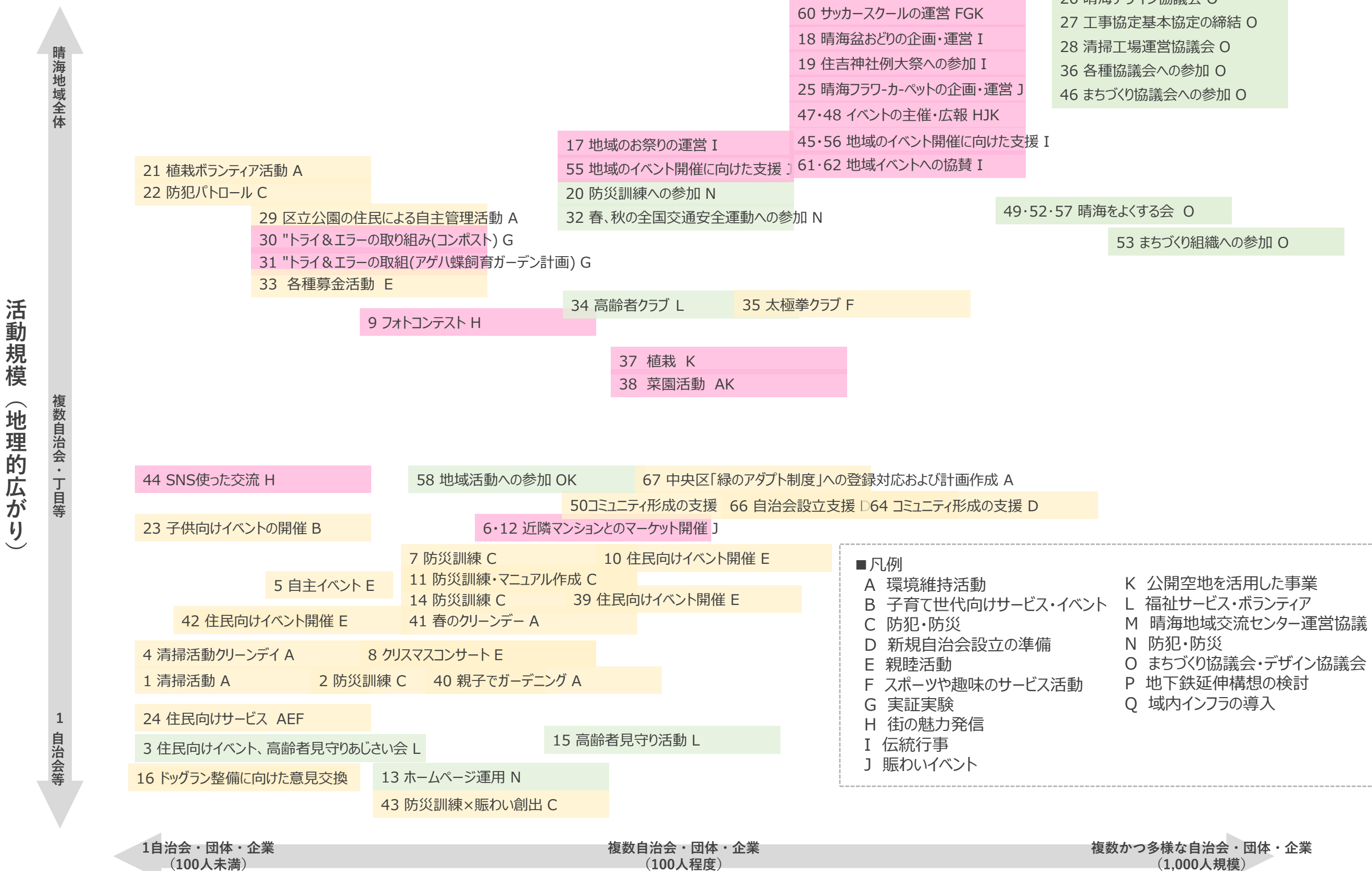
イベントや多様な事業による賑わい

伝統行事を含めた連合町会の活動が地域全体の活動として定着している一方で、新たな活動やSNSでの連携も生まれている。

豊富なパブリックスペース・サービス

地域活動の基盤として、多様な主体が関わる組織や会議体が構築されている。

活動の規模・関わる人による分布（全体）イメージ



(参考2) 地域参加型の取組の紹介

晴海をよくする会（企業主催）：「ねぶくろシネマ in 晴海」

開催の目的

- ・ 晴海に住み活動している人々との接点を持つこと、晴海をよくする会を認知していただくことを目的に開催。
- ・ 参加者との交流やアンケート結果を踏まえて、今後の具体的な施策を検討し、晴海をよくする会の今後の活動に反映していく。

第1回 開催概要

日時：2022年10月10日（月・祝）

場所：リアルマドリッド・ファンデーション

・フットボールスクール 東京晴海校



アンケート結果

- ・事前申込者数：360名 ※定員数到達
- ・当日参加者数：164名
- ・申込者居住地：晴海51%／中央区内（晴海以外）35%／それ以外14%
- ・同行者：家族81%／友人11%／1人8%

実現できた要因

- ・ 晴海をよくする会構成員のNTT都市開発が所有する会場で開催。パブリックビューイングを実施した実績があり、映像機材等環境が整っていた。
- ・ 開催主旨に合わせて近隣住民の方の参加を促すため、SNS・WEBでの告知は実施せず、各自治会、晴海トリトン、会場、保育園等にチラシ・ポスターの設置を依頼。参加者の86%が区内在住者という結果を得られた。
- ・ 受付や誘導など晴海をよくする会構成企業各社で行い、専門性の高い映像機材の操作やイベント進行等は外部企業に委託した。

実施により得られたこと

- ・ 晴海をよくする会紹介文をチラシに掲載し、当日も冒頭に簡単な挨拶の時間を設ける等して、晴海をよくする会の認知度アップに繋がられた。
- ・ アンケートで晴海のまちづくりに関するご意見を収集。今後の活動に活かせる有益な情報を得ることが出来た。
- ・ イベントに対する住民からの期待やニーズが高いことが分かった。今後もイベントを継続していくためには、人・財源の確保も必要であることから、住民等の協力も不可欠である。

第2回 開催概要

日時：2023年9月30日（土）

場所：晴海ふ頭公園



アンケート結果

- ・当日来場者数：約600名（事前申込なし）
- ・当日アンケート回答結果： 回答件数：60（来場者の約10%）
- 来場者居住地：晴海67%／中央区内（晴海以外）28%／それ以外5%
- ・同行者：家族93%／友人7%／1人0%

実現できた要因

- ・ 晴海ふ頭公園の指定管理者である東部地区公園グループと共同で開催。事前申込なしで開催した結果、来場へのハードルも低くなり、昨年度比約3倍の来場者数となった。参加者の95%が区内在住者だった。
- ・ 受付や誘導など晴海をよくする会構成企業各社で行い、専門性の高い映像機材の操作やイベント進行等は外部企業に委託した。